

自主防災組織で地域を守る

災害が発生したとき、被害を最小限にするためには、自分や家族だけが安全というだけでは本当の安全とは言えません。自分たちの住むまちが安全になり、はじめて自分や家族が安全になれるのです。安全で住みよいまちをつくるためには、日ごろから地域の連帯感を深めていくことが大事です。「共助」の基礎となる自主防災組織は、自主的に結成される組織として、災害発生時に行政機関が機能するまでの時間、自らの地域を守るために活動します。

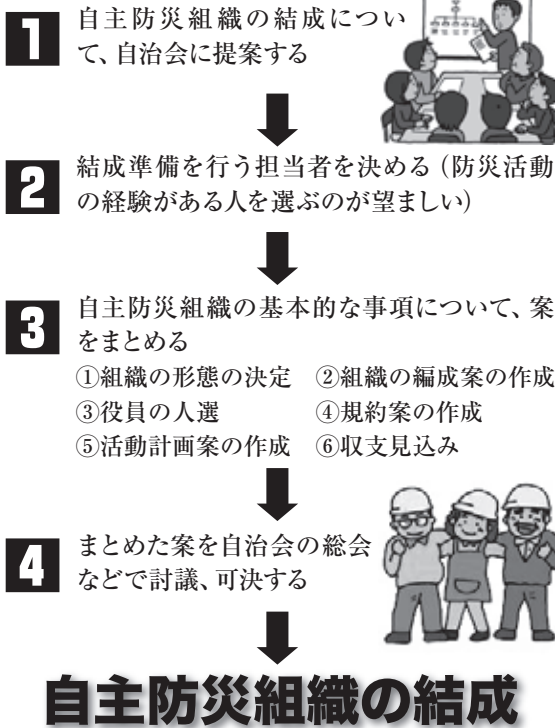
自主防災組織の作り方

町内会での消火器の点検・交換・消火訓練や地域での夜回り、回覧板での防火・防災のお知らせ

などを行っていませんか。これが自主防災活動なのです。「自分のちのまちは自分たちで守る」という意識をみんなが持つことが組織の結成の出発点になるのです。

自主防災組織の結成手順

※自治会などを利用して組織を結成する方法を事例に、具体的な結成手順を紹介します。



▲八木町南地区の水防訓練

自主防災組織の活動

組織を結成するというと大変に思われがちですが、自治会や町内会などの中に防災部などを設けて組織化する方法もあります。具体的な組織結成の手順などは、市役所総務課にご相談ください。規約や役割分担の例、自分たちの地域の防災マップ、市や消防署などと協力・支援できることなど、さまざまな知識や情報、活動の支援などをお手伝いします。

自主防災組織の活動には平常時と災害時の活動があります。下の表は西胡麻地区消防協力隊（日吉町）が行っておられる活動の事例です。

西胡麻地区消防協力隊の主な活動例

平常時の活動

- 防火啓発活動
- 独居老人世帯の把握
- 水利および水利組合役員の把握
- 消防協力隊員の確保
- 初期消火訓練の実施
- 普通救命講習会の開催(写真)
- 防火座談会の開催



災害時の活動

- 西胡麻地区消防詰所に待機し、消防団員と連絡を取り合っ、必要な機材器具・物資を供給
- 消火栓などを使った初期消火
- 消防団・消防署が活動しやすいように現場の交通整理や水利への誘導
- 被災者の避難誘導
- 災害による被害を軽減するための初期活動